

【議事要旨】令和7年度第3回北陸圏広域地方計画有識者懇談会

日時：令和8年3月17日(火) 15:00～

場所：金沢商工会議所 2F大会議室

～主な意見（要約）～

(1) 新たな北陸圏広域地方計画【計画素案】(案)について

- ・北陸圏は中部圏と経済的・観光的な繋がりが非常に強く、関西圏とも繋がりが強いので計画に書かれていることが重要になると思う。
- ・昨今の石油価格の上昇や戦争等が長引くと国内への影響も大きくなると考えられ、再生可能エネルギーの企業や関連企業の誘致は重要なポイントだと思う。

(2) これまでの計画策定や今後の展望等について

- ・本計画の策定に携わるなかで、人間にはどうしてもできない自然災害もあり、如何に安全・安心に暮らすためには、どのような事が重要なのか考える機会となった。
- ・北陸圏は大きな自然災害を経験したが、この経験を次世代への価値へと変換するために皆で対話していけると、次への投資にも繋がられるのではないかと。
- ・コミュニティの形成に向けて、住民主体、市民協働、担い手育成などが重要となってくるが、これらが本計画に位置付けられた事感慨深く思っている。
- ・本計画内においてカーボンニュートラルやサーキュラーエコノミーという言葉をしつかりと位置付けられたため、これが進展する大きな契機になってくると期待している。
- ・能登半島地震でもエネルギーの確保が重要となる中で、エネルギーに対するセキュリティ面も計画に記載されていて、良い計画となったのではないかと。
- ・本計画は、国・自治体・民間の3者が協調しながら取り組んでいくものと理解しているが、地方の自治体は人手不足が深刻となっているため、優先順位をある程度決めて物事が前に進めるように、国から支援してほしい。
- ・人口減少や予算も限られていく中で、今までやり方の踏襲ではない優先順位の明確化や決断が必要になってくるのではないかと。
- ・国土形成計画や広域地方計画は、一般の方にあまり知られていないため、計画を取りまとめた後に、市民の方に分かりやすくPRする機会を設けた方が良い。
- ・大きな災害が起きると加速度的に人口が減るなか、インフラが復興してもそこに住みたいと思える地域にならないとうまくはいかない。北陸圏が住みたくなる地域になるために、この計画が活かされることが重要ではないかと思う。

－ 以 上 －